

## 卒業評価判定基準

卒業を認定するためには、学生は卒業に必要な最低単位数 120 単位（共通必修科目・コース必修科目・選択科目・第二外国語を含む）以上の単位を取得していなければなりません。単位数が不足している場合は卒業できません。

共通必修科目、及びコース必修科目の単位を落としている場合、たとえ取得単位の総合計が 120 単位以上であっても、卒業が認定されません。

## 学業評価判定基準

卒業を認定するためには、学生が卒業に必要な最低単位数（120 単位うち共通必修科目・コース必修科目・第二外国語・選択科目を含む）以上の単位を取得していなければなりません。単位数が不足している場合には、以下の規定に基づいて判定します。ただし、共通必修科目・コース必修科目の単位を落としている場合には卒業を認定しません。

単位不認定 共通必修科目・ コース必修科目	認 定	認 定 条 件
1～3 科目 まで	条件付進級 (1 年生)	補習授業（有料）に必要回数出席し、課題（試験など）がクリア出来た場合、1 年次の不合格科目を合格とし単位の回復を認めます。（1 年生）
	卒業または留年 (2 年生)	補習授業（有料）に必要回数出席し、課題（試験など）がクリア出来た場合に卒業を認定します。合格出来なかった場合は、留年の扱いとします。 (2 年生)
4 科目 以上	留 年	学校と話し合い、留年するか退学するか決定する。 (1 年生) 学校と話し合い、退学するか次年度に卒業するか決定する。 (2 年生)

※1 年次、2 年次に関わらず出席・成績不良が深刻な場合は強制的に退学となる場合があります。